

平成 22 年の夏、特に夜の寝苦しさには参りました。埼玉で生まれ育ち、暑さはそれなりに経験していたのですが…。平成 2 年に大手コンサルに入社、札幌配属を命じられ、同年 5 月初旬に赴任。フェリーを降りて見上げた小樽天狗山の残雪に驚いたことを強く覚えています。それから 20 年ともなれば、体も心も北海道仕様です。

平成 18 年春に大手コンサルから株式会社エコテックに転籍して、構造物基礎、斜面防災およびトンネルなどの調査・解析に携わっています。転籍以前ですが、電源開発に伴う地質調査で、事業者と非常に近い位置で業務に携わらせていただきました。その過程で、多くの先輩・発注者の下、地質調査では何が求められ、結果は設計・施工にどう反映されるか、さらに事業に与える影響など、事業における地質調査の役割・位置づけを学ぶという非常に貴重な経験をさせていただきました。昨年度、総合技術監理部門を取得できたのは、本の知識ではなく、このような経験があつての結果と認識しています。

現在(これまでもですが)、社会が技術者に求める課題は複雑かつ多岐に渡ります。そして、一人の技術者が対応できる範囲には限りがあります。このため、私たちは様々な部門の技術者と連携を取って、より良い方向性を示すことが基本と考えます。これまでの経験を生かしつつ、地質屋目線のコンサルティングという役割をより高められるよう、進んで行きたいと思っています。

平川 泰史 (ひらかわ やすし)

●応用理学部門(地質)
／総合技術監理部門

勤務先

株式会社 エコテック



➡ 次号は、安井宏也さん(建設部門)

私は 1972 年に根室市で生まれ、半年後に枝幸町へ移り住み、大学院までの 6 年間を北見市で土木についていろいろと学びました。そして現在の会社に就職し、本社のある釧路市で 9 年過ごした後、2 年半ほど前に異動で北見市へ戻り現在に至っております。

私の仕事は、道路に関連する内容が多いのですが、道路以外にも河川業務や測量・環境調査などの経験

をさせていただいております。その他には、車の運転中に目の前を『熊』が猛烈な勢いで横切られたり、現場踏査中にどぶに落ちて全治 3 箇月ほどの怪我を負ったりという経験もさせていただいております。

そのような経験をして現在に至っている私ではありますが、技術士の選択科目を“鋼構造及びコンクリート”としたのは、大学時代に橋梁の研究をしていたこと、社会人の初期に他の会社で橋梁やコンクリートの勉強をする機会があったこと、自社で時々ではありますがコンクリート構造物の業務に携わったこと、この 3 つを一本の線で結び、コンクリート業務を自分にとってひとまとめの経験としたかったためであります。合格するまでは、「自分は本当に取得できるのだろうか」という不安が相当ありました。しかし、いろいろな人からの助言をいただいたことなどもありまして、2009 年の春に何とか合格することができました。

今後は、自己の資質向上を目指しつつ、業務に励んでいこうと思っています。また、技術士を通じていろいろな人と知り合う機会も増えましたので、人とのつながりを大切にしていきたいと思っています。

平 成晴 (たいら しげはる)

●建設部門
(鋼構造及びコンクリート)

勤務先

太平洋総合コンサルタント株式会社
北見支店



➡ 次号は、土田好起さん(建設部門)